

令和 7 年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立啓発センター
施設所管課・担当	環境局環境管理部環境規制課（担当：稲田、藤井）
条例上の設置目的	飛行場周辺における航空機騒音による障害の緩和を目的とする。
業務の概要	共同利用施設条例及び関係法令に基づき、大阪市立啓発センターの管理運営業務を行う。
成果指標	利用者数 / 利用者満足度
数値目標	前年度の利用者数を下回らないこと / 80%以上
指定管理者名	啓発センター管理運営委員会
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標	前年度以上	80%以上
年度実績	5,134人	97.9%
達成率	98.7%	122.4%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	5,134人	5,203人	-69人
稼働率	11.2%	8.9%	2.3%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	1,903,002	1,860,630	0	
	計画	1,903,002	1,860,630		
利用料金収入	実績	-	-	-	
	計画	-	-		
その他収入 （自主事業収入）	実績	-	-	-	
	計画	-	-		
合計	実績	1,903,002	1,860,630	0	
	計画	1,903,002	1,860,630		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	1,199,174	1,175,588	-86,592	
	計画	1,285,766	1,243,394		
物件費	実績	703,828	685,042	86,592	座椅子の老朽化に伴い買い替えたことによる増。
	計画	617,236	617,236		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	0	0	0	
	計画	0	0		
合計	実績	1,903,002	1,860,630	0	
	計画	1,903,002	1,860,630		

令和7年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者数	98.7%	B	前年度から、利用人数は横ばいだが、稼働率はやや増加した。
利用者満足度	122.4%	S	満足度調査において、「満足・どちらかと言えば満足」と答えた方の割合は97.9%と目標を上回っており、否定的な回答は2.1%であった。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
大阪市からの業務代行料の範囲内で管理運営を行った。	B	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

5 利用者ニーズ・満足度等

・施設利用満足度等についてアンケート調査を実施し、施設利用者141人（個人）、15件（団体）から回答を得た。「満足・どちらかと言えば満足」と答えた方の割合は施設利用者個人で97.9%、団体では100%であった。
・トイレの改修要望、施設の存在に感謝する声が多く見られた。

6 外部専門家意見

・指定管理者は、概ね協定で定める水準の管理運営を行っており、一次評価は妥当と考える。
・利用人数はわずかに減少したものの、稼働率は増加しており、概ね協定で求める成果を収めている。
・識字日本語教室やアルコール依存症等の回復支援の場を提供している点は、本施設の特徴的な取組であり、地域にとって有用かつ貴重な施設であると評価できる。
・今後も、施設がより快適で、かつ利用しやすい、魅力的なものとなるような施設運営に努められたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	利用者数の目標は未達成となったものの、利用者満足度の目標は達成しており、概ね協定で定める成果を収めた。
市費の縮減	B	業務代行料の範囲内で管理運営が行われている。
管理運営の履行状況	B	概ね協定で定める水準の管理運営が行われている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	概ね協定で定める水準の管理運営が行われている。